

社会資本総合整備計画 事後評価書															
計画の名称	琵琶湖流域における河川環境の保全・再生対策の推進														
計画の期間	令和02年度 ~ 令和06年度 (5年間)										重点配分対象の該当				
交付対象	滋賀県														
計画の目標	琵琶湖総合保全整備計画 第2期 および琵琶湖保全再生施策に関する計画に基づき、自然環境保全対策を実施することにより、琵琶湖流域の生態系の保全・再生を目指す。 突堤や養浜等の砂浜保全対策などによる自然環境保全対策により、湖岸の保全と自然環境の再生を図る。														
全体事業費（百万円）		合計（A + B + C + D）		1,133	A	1,133	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A + B + C + D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R2		R6
1	琵琶湖の水質について、水質保全対策を実施することにより、全窒素、全リンについて、水質目標値まで改善する。			
	琵琶湖の水質 T - N（南湖）	240 μg/L	μg/L	240 μg/L
2	琵琶湖の水質について、水質保全対策を実施することにより、全窒素、全リンについて、水質目標値まで改善する。			
	琵琶湖の水質 T - P（南湖）	15 μg/L	μg/L	15 μg/L
3	突堤や養浜等の砂浜保全対策などによる自然環境保全対策を新たに1,700m実施する。			
	湖岸保全対策延長 砂浜保全や人工護岸の再自然化等により湖岸を保全した延長	0m	1020m	1700m

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
その他総合的な治水 事業	A08-001	総合治水	一般	滋賀県	直接	滋賀県	環境	-	甲賀・湖南圏域総合流域 防災事業	マイアミ浜他1河川 砂浜保 全、自然再生	野洲市、草津市	■	■	■	■	■	369		-	
	A08-002	総合治水	一般	滋賀県	直接	滋賀県	環境	-	東近江・湖東・湖北・湖 西圏域総合流域防災事業	近江白浜他3河川 砂浜保全	高島市	■	■	■	■	■	674	9.0	-	
	A08-003	総合治水	一般	滋賀県	直接	滋賀県	環境	-	大津・信楽圏域総合流域 防災事業	北小松浜他 1 河川 砂浜保全	大津市					■	90	1.59	-	
											小計							1,133		
											合計							1,133		

事後評価	
○ 事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
滋賀県公共事業評価監視委員会にて実施	令和7年1月20日
	公表の方法
	ホームページ
○ 事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	マイアミ浜および湖西圏域では、突堤工と養浜工、緩傾斜護岸工により汀線が回復し、砂浜の再生と保全が図られ、湖辺域の景観向上や陸上植物の生育場所の保全に寄与していることを確認した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○ 特記事項（今後の方針等）	
湖岸保全のための事業を継続するとともに、良好な琵琶湖の湖岸環境の維持や、豊かな生態系の復元のため、引き続き湖岸保全対策や水質保全対策の推進に取り組む。	

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	水質改善 T-N(南湖)		
	最 終 目標値	240 μ g/L	
	最 終 実績値	240 μ g/L	
2	水質改善 T-P(南湖)		
	最 終 目標値	15 μ g/L	大雨等の影響により観測値が高くなった可能性がある
	最 終 実績値	18 μ g/L	
3	対策延長		
	最 終 目標値	1700m	
	最 終 実績値	3170m	